



平成 30 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 SDエンターテイメント株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 吉住 実
(JASDAQ コード 4650)
問 合 せ 先 管 理 本 部 長 荒 井 隆 夫
電 話 番 号 011-241-3951
U R L <http://www.sugai-dinos.jp/>

連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成 30 年 3 月期の連結業績につきまして、平成 30 年 2 月 13 日に公表しました平成 30 年 3 月期(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)の通期業績予想との差異が下記のとおり生じたのでお知らせいたします。

記

平成 30 年 3 月期連結業績予想と実績値の差異(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,050	70	0	20	2.23
実 績(B)	7,940	68	△73	20	2.32
増減額(B-A)	△110	△2	△73	0	
増減率(%)	△1.4	△2.9	—	3.9	
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 3 月期)	7,731	188	52	20	2.31

【差異理由】

当期の業績については、売上高・営業利益及び親会社株主に帰属する当期純利益についてはほぼ達成しておりますが、経常利益については第3四半期に公表しました修正業績予想を下回りました。

当期の業績は札幌市の大型複合アミューズメント施設における大型ゲーム場退店跡にフィットネス道内初出店並びに複合カフェ併設とテナント入替を実施するという大規模な業能転換、フィットネス事業の一部老朽化既存施設の譲渡、「プロテインバー」「空中ヨガ」「ホットヨガスタジオ」などの新規アイテムの導入をはじめとする成長アイテムへの設備投資、GAME 事業の新型クレーンゲーム機の集中投資をはじめ

めとする勝ち残り戦略等の布石の実行などの構造改革投資を積極的に実施するとともに、子会社においては企業主導型保育の開設等の先行投資を実施いたしました。また、当社における一番の繁忙期である第4四半期会計期間において、「ハッピー雪ミク祭り 2018」「創業 99 周年記念パッケージの販売」など、積極的に営業施策を行いました。

その結果、売上高・営業利益は一定の挽回はできましたが、想定以上に平昌オリンピックの盛り上がりがマイナスに影響し、GAME 事業・ボウリング事業を中心に売上高が予想を下回り（修正業績予想比▲110 百万円）、さらなる増益を狙っていた営業利益のリカバリーも低調（修正業績予想比▲2 百万円）となったこともあり、経常利益については予想を下回り 73 百万円の損失となりました。なお、親会社株主に帰属する当期純利益は、修正業績予想の見込みに入れていなかった札幌市内店舗の再開発移転に伴う補償金等の計上があり、修正業績予想と同じ 20 百万円となりました。

なお、1 株当たりの配当については修正業績予想の通り、1 株あたり 1 円に変更はありません。

以 上